

迎春 新たな年を迎える

猪田神社より下郡南地区の向こうに登る朝日を望む



謹賀新年

依那古地区住民自治協議会
会長 半田 泰士

皆様におかれましては健やかな新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年住民の皆様方には多大なご支援ご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

昨年は振り返ってみますと新型コロナウイルスの感染拡大が大きな問題となり、学校の休校や行事の中止や自粛、様々な部分で制約が発生し、経済的な影響が出て、私達の生活様式も大きく変わってしまいました。

住民の皆様の交流や健康づくり、支え合いのまちづくり等を進める当依那古地区住民自治協議会においても、事業の見直しや縮小を余儀なくされてまいりました。

11月中旬からの第3波も未だに落ち着く気配もなく、まだまだ予断を許さない状態が続くと思われまます。まずは安全を最優先させ、皆様が進んで行きたいと思えます。住民の皆様におかれましては、気を緩めることなく、感染予防対策を行っていただきませうお願い申し上げます。

最後に皆様方のご健勝とご多幸を祈念し新年の挨拶といたします。



丑年のお話

「丑」は中国で生まれた漢字で、「からむ」という

意味があり、芽が種子の中で伸びることができない状態を表します。これを後に覚えやすくする為に「牛」の意味が与えられました。

「牛」は古くから食牛や乳牛、耕牛と呼ばれ酪農や農業で人々を助けてくれる存在として重要な生き物でした。大変な農業を地道に最後まで手伝ってくれる様子から、丑年は「我慢(耐える)」や「発展の前振れ(芽が出る)」を表す年になると言われています。

昨年の子年に蒔いた種が芽を出して成長する時期ともされ、まだ結果を求めない時期ではなく、結果につながる道をコツコツと作っていく基礎を積み上げていく時期で、先を急がず一歩一歩着実に物事を進めることが大切な年と言われていると思います。

新型コロナウイルスの蔓延で、まだまだ耐え忍ぶ年になるかもしれないかもしれませんが、地道に突き進むことで新たな発展へと繋げる年にしていきたいですね。



明けましておめでとうございませす。皆様にはご家族お揃いで清々しい新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。昨年、新型コロナウイルス感染拡大で教育現場や市民生活の中でさまざまな影響が出た年でした。伊賀市でも多くの感染者が確認され、先が見えない状況は今後も続くとおもわれます。市民の皆様一人ひとりが感染防止の意識を強く持つて、力を合わせてこの難局を乗り越えなければなりません。

新年度からは保育所の統合が進められますが、益々少子化が進む中で解決して行かなければならない課題はまだ残されています。地域方の更なる発展と皆々心して健やかに暮らせる地に向ける所存です。本年が皆様にとりまして実り多き年となりますことをご挨拶とさせていただきます。会 長 松

新年明けましておめでとうございませす。謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨年とはかくにも新型コロナウイルスの影響が出た年でありました。



自粛や制限で思う様なサークル活動が出来ず文化祭についても従来のような形での開催が出来ませんでした。2021年も、どうなるのか先が見えない状態が続くと思えますが、人生百年時代と言われる中で生きがいを見つけて、新しい生活様式に対応しながら過ごしていけたらと思えます。本年もどうぞよろしくお願い致します。



農業集落排水処理施設

設

理組合

維持管

組合長 辻

高明

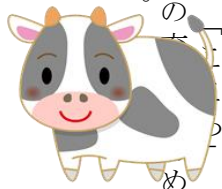
明けましておめでとうございませす。平素は依那古地区集落排水処理施設維持管理組合の諸事業にご理解とご協力を賜わり、厚く御礼申し上げます。昨年は維持管理組合の事業であります処理施設の点検・清掃・除草等も新型コロナウイルスの影響により、点検は4月2週をもつて中止となり以降は伊賀市からの業者委託となりました。清掃・除草については12月13日(日)に役員と委員の方々に実施して頂きました。重ねて御礼申し上げます。令和2年度の事業としては年度末の3月まで事業無しで進む事になります。

今後は現状を踏まえたうえで、皆様方に不便の無いように対応してまいります。早く新型コロナウイルスがおさまりに正常に戻れることを祈ります。最後によりお祈り申し上げます。

伊賀市立依那古小学校 校長 宮

本 まゆみ 校長 宮

あけましておめでとうございませす。皆様方には日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご支援をいただきありがとうございます。また、子ども達の安全のために登下校時の見守りや青パトへの協力をお願いいたします。昨年、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月から5月まで臨時休業となり、再開後も活動や行事等様々な制約がある中、保護者や地域の皆様のご理解とご協力の下、感染症対策に努めながら、何とか教育活動を続けることが出来ました。そんな中で、このような状況下から、そのお互いを思いやり、助け合う事の大切さを痛感しました。今後、皆様のお力添えを頂きながら「いのち」「なごみ」を大切にしたいと思っております。そして、皆がマスク無しで笑顔で過ごせる日が早く来る事を切に願っております。



世代間交流事業、歴史散策ウォーキングの中止のお知らせ

11月中旬以降、伊賀市・名張市における新型コロナウイルスの感染者が増大し、各方面での自粛指示が出ています。大人数での会食や密室で長時間過ごした場合の感染リスクが極めて高いと言われています。毎年、1月に開催しています「世代間交流」ですが、児童の感染防止対策を考えると、小学校に大人数が集まり交流活動を行うことは避けなければならないと、本年度の「世代間交流事業」は中止とします。また、2月度に計画の「歴史散策ウォーキング」も、大人数でのバス移動は感染リスクが高く中止とします。「歴史散策ウォーキング」としては先般の依那古ふれあい文化ウィークの企画イベントの中で、下郡の猪田神社と猪田の猪田神社周辺を散策しており、これを代替事業として計画終了とさせていただきます。